

# ゆりかもめ

「ゆりかもめ」の由来

ゆりかもめは「伊勢物語」では“都鳥”と詠われ  
京の都を思い出させる響きとなっています。  
ゆりかもめが冬の京都の風物詩として親しまれているように  
京都学習センターの機関誌も皆さんに親しんでいただけるよう  
「ゆりかもめ」と名付けられています。

第123号

令和6年10月発行

放送大学京都学習センター

TEL : 075-371-3001

FAX : 075-371-3033

11月・12月・1月の特別講義	2
11月・12月・1月の学習懇談会	6
面接授業・単位認定試験	7
事務室からのお知らせ	8

## 事務室窓口

火曜日～日曜日

9時30分～12時  
13時～17時30分

## 閉所日

月曜日、祝日

11月	24日
12月	28日、29日、31日
1月	1日～5日、14日

年末年始の閉所日については  
P.8を参照してください。

## 図書・視聴学習室

火曜日～日曜日

9時30分～17時30分

京都学習センターウェブサイト  
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/kyoto/>



# 特別講義



特別講義

■ 1回完結型の講義です。

受講しても単位の修得にはなりません。

■ 京都学習センター所属の在学生(休学中を除く)が  
受講対象者です。

■ 応募者多数の場合は、抽選となります。

■ 開催方法は教員によって異なります。

## 申込受付

10月1日から受付開始



講義ごとに申し込みをしてください。

対面式：京都学習センターの講義室等で受講する方式です。

Web式：自宅で受講する方式です。



抽選結果は、講義開催日の1週間前に放送大学キャンパスメールに連絡します。

11/7 (木)

13:30～15:00

対面式 30名

## 東南アジアの神仏習合

申込締切：10月23日（水）



片岡樹先生

タイ国の神仏習合について解説します。仏教国タイでは、日本と同様に各種の神々も祀られています。日本においては明治初年の神仏分離まで仏教と神道が混然一体となった、いわゆる神仏習合が一般的でした。ただしタイ国の場合、神仏分離や廢仏毀釈が行われず、また中国系、インド系などの移民が持ち込んだ神々も多いことから、現在に至るまで神と仏の混在状況が続いている。ではこの状況をいかに理解するか。本特別講義では、日本の神仏習合論を手がかりに、日本との比較の視点から解説していきます。



<https://x.gd/Xt4Cd>

11/8 (金)

13:30～15:00

対面式 30名

## 近代の祇園祭

申込締切：10月23日（水）



村山弘太郎先生

祇園祭の研究は前近代、なかでも特に中世が中心に進められてきた。そこでは多くの研究蓄積がなされ、全体像がかなり明らかになりつつある。それに対して明治維新後の祇園祭については、研究が緒に就いたばかりであり、いまだ基本的な事実でさえあきらかにされていない部分が多い。

この講義では、そのような近代の祇園祭について、現代にいたる前提を素描してみたい。



<https://x.gd/e5SbJ>



11/20 (水)

15:30~17:00

対面式 30名

## オセアニアの人々の時間利用

申込締切：11月5日（火）



古澤 拓郎 先生

漁撈農耕で自給自足をするオセアニア（大洋州）島嶼部の人々は、生きるために必要なものの多くを周囲の自然から得ているため、労働が大変そうだと思われがちであるが、実は日本人よりもずっと少ない労働時間で生きている。彼らの事例を紹介しながら、世界各地の民族の時間利用について解説する。

11/29 (金)

13:30~15:00

Web式 30名

## 生涯学：加齢観の刷新をめざす学際的研究

申込締切：11月14日（木）



月浦 崇 先生

「アンチ・エイジング」という言葉があるように、「エイジング」に対して多くの方が抱いている印象は、一般的にネガティブなものであると思います。確かに、年齢とともに心身の機能が低下することは避けて通ることはできませんが、その一方で年齢を重ねることでポジティブに変化する（成熟する）こともあるはずです。本講義では、成熟した「老い」へ向けて私たちが進めている「生涯学」と呼ばれる学際的研究の一端を紹介したいと思います。

12/3 (火)

13:30~15:00

対面式 30名

## 京の年の瀬と新年的行事

申込締切：11月19日（火）



八木 透 先生

京都では、かつては師走には朝廷を中心として大祓えという行事が行われていました。これは人間や家屋、その他の生活空間にしみ付いた“罪”や“ケガレ”あるいは“厄”などを祓い清めるための儀礼を意味します。今日まで伝わる大祓えの伝統と、京都の新年の諸行事を紹介しながら、かつての年の瀬と正月の民俗的意味について考えてみたいと思います。



<https://x.gd/HGQ6T>



12/21 (土)

15:30~17:00

対面式 30名

## アフガニスタン —9.11から振り返る

申込締切：12月6日（金）

2021年8月15日、アフガニスタンではタリバンが復権しその支配は現在まで続いています。その20年前、前タリバン政権は9.11(同時多発テロ)を契機とする攻撃で崩壊し、アメリカや日本が支援する中で民主主義国家として再建が進みました。今回の講義では今一度、9.11とアフガニスタンの関係を整理し現在に至る過程を振り返ってみます。



嶋田 晴行 先生



<https://x.gd/1sVss>

12/22 (日)

15:30~17:00

対面式 30名

## 環境の価値

申込締切：12月7日（土）

私たちは、環境から有形無形のさまざまな恵みをもらって生活しており、環境はなくてはならないものです。大切なものの、重要なものには「価値がある」とよく言います。生きていく上で、不可欠であり大切なものの環境には「価値」というものがあるのでしょうか。一方、たとえなくても生活するのに困らないけれども、美しいものや珍しい(貴重な)ものにも「高い価値」があると考えたりします。「環境の価値」に関しては、環境哲学や環境倫理学、環境経済学などさまざまな分野で研究されていますが、この特別講義では、その概要についてご紹介し、環境問題を解決するために何を考えなければならないかということを、「環境の価値」という観点から考えてみたいと思います。



吉岡 崇仁 先生



<https://x.gd/JxSre>

1/16 (木)

10:15~11:45

対面式 30名

## 谷崎潤一郎の文学

申込締切：12月20日（金）

谷崎潤一郎は日本美を描いた作家であるとか、官能的な世界を描いた作家であるといったようなことがしばしば言われます。それは必ずしも間違ってはいないのですが、本講義では谷崎につきまとうその典型的なイメージを小説の中から具体的に説明していきたいと思います。そうすると、谷崎がいかに小説技術に秀でた作家であったかが見えてくると思います。この講義をきっかけにして谷崎の小説世界により深く入り込んでいっていただければ幸いです。



瀬崎 圭二 先生



<https://x.gd/8EuIY>



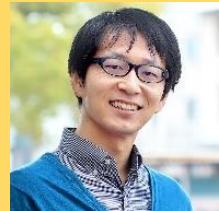
1/30 (木)

10:15~11:45

Web式 30名

## 漫画「鋼の錬金術師」に表現される「生まれる」ということ

申込締切：1月15日（水）



倉西 宏 先生

放送大学の授業である「物語と臨床心理学」の中で漫画の分析を行っている。その中で「鋼の錬金術師」を扱っているが、時間的な問題からかなりポイントを絞って考察を行っている。今回はより詳細に物語を紹介して、より踏み込んで考察を行いたい。考察の視点は「生まれる」ということである。主人公のエドとアルはまだ生まれていない。そして旅の目的は「生まれる」ということであり、自身がよって立つドックを見出し、無事に生まれるに至ったのだと考えられる。そのプロセスを提示したい。



<https://x.gd/ygPwX>

## 特別講義への申込方法



郵便料金引き上げに伴い、11月の特別講義より往復ハガキによる申し込みをやめ、原則Googleフォームでの申し込みに変更します。

### Web申込



講義ごとのURLまたはQRコードから申し込んでください。

申込締切日を過ぎると、Googleフォームにアクセスすることができなくなりますので、ご注意ください。

- Googleフォームから送信した後に受付完了メールが届きますので、必ず確認してください。
- 抽選結果は、放送大学キャンパスメールに送ります。記載内容に従って受講してください。
- 当日、学生証をお持ちください。



当日ご都合が悪くなった場合は、事前にご連絡ください。  
無断欠席が続く場合、受講をご遠慮いただく場合があります。

Googleフォームからの申込方法がご不明な方は、  
京都学習センターまでお問い合わせください。  
電話番号：075-371-3001

# 学習懇談会



学習相談一覧

■京都学習センター客員教員に修学上の悩みや学習内容について質問や相談することができます。

■予約当日は、実施方法に関わらず開始時刻までに京都学習センターへお越しください。

## 予約優先制

電話での予約申込



1人15分間です。

当日空席がある場合は、  
予約無しでも参加可能です。

※ディスカッション形式の場合、  
15分間の制限はありません。  
※当日空席がある場合、1回限り延長可能。

予約電話番号：075-371-3001

対

教員と対面で行う方式です。

★：複数人で行うディスカッション形式です。

W

学習センターの部屋に置かれた  
PCの画面越しに行う方式です。



11月 7日(木)15:30~17:00

12月 5日(木)15:30~17:00

1月 7日(火)15:30~17:00

対



片岡 樹 先生 文化人類学、東南アジア研究



11月 26日(火)10:15~11:45

11月 21日(木)13:30~14:45

12月 なし

1月 28日(火)13:30~15:00

W

★

倉西 宏 先生 臨床心理学



11月 なし

12月 なし

1月 なし

齊藤 智 先生 認知心理学



11月 6日(水)10:15~11:45

12月 4日(水)10:15~11:45

1月 8日(水)10:15~11:45

W

嶋田 晴行 先生 國際協力・開発経済



11月 1日(金)10:15~11:45

12月 6日(金)10:15~11:45

1月 10日(金)10:15~11:45

W

瀬崎 圭二 先生 日本近現代文学



11月 2日(土)13:30~15:00

12月 21日(土)10:15~11:45

1月 31日(金)15:30~17:00

W

月浦 崇 先生 認知神経科学



11月 13日(水)10:15~11:45

12月 11日(水)10:15~11:45

1月 9日(木)10:15~11:45

W

古澤 拓郎 先生 人類生態学  
東南アジア・オセアニア地域研究



11月 8日(金)10:15~11:45

12月 6日(金)10:15~11:45

1月 17日(金)10:15~11:45

W

村山 弘太郎 先生 日本近世史、民俗学



11月 1日(金)10:15~11:45

12月 3日(火)10:15~11:45

1月 10日(金)10:15~11:45

W

八木 透 先生 民俗学、東アジアの家族史



11月 14日(木)10:15~11:45

12月 22日(日)13:30~15:00

1月 29日(水)10:15~11:45

W

吉岡 崇仁 先生 生物地球化学

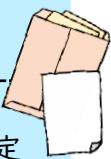
# 面接授業



2024-2面接授業

## 事前文書

各開講初日の  
1~2週間前に到着予定



座席番号が記載された出席票を同封しています。

出席票は、授業当日に受付で回収します。  
事前に記入を済ませておいてください。

受講が決定した学生には、システムWAKABAに登録されている住所へ事前文書を送付します。講師からの連絡事項や受講上の注意点などが記載されていますので、必ず中身を確認してください。さらに、学習センター以外の場所で行われる科目には学生教育研究災害傷害保険加入のご案内を、BYOD科目にはPCの持ち込みについてのご案内を、それぞれ同封します。座席は指定となっていますので、文書内に記載されている番号の席に着席してください。



2024年度2学期から、Googleフォームで追加登録の事前申請ができるようになりました。  
キャンパスメールの受信方法を事前に確認しておいてください。

## 単位認定試験

### 体験会

電話での申し込み



操作方法について、詳しくご説明します。

下記日程で開催します。パソコンの操作が苦手な方、  
事前に操作体験をしたい方はこの機会にご参加ください。



最初の30分は、パスワード変更の説明です。

初期パスワード変更済みの方は、開催時間の30分後からご案内します。

開催日	開催時間	定員	申込期限
12月5日（木）	(PW変更) 10:00~10:30	各20名	定員に達し次第、締め切ります。
	(体験会) 10:30~11:30		
1月9日（木）	(PW変更) 13:30~14:00		
	(体験会) 14:00~15:00		

申し込み先 : 075-371-3001

電話にて、以下4点を伝えてください。

- ①氏名  
②電話番号

- ③学生番号  
④希望日時



入学時に付与される初期パスワードは、必ず  
変更してください。

一定期間経っても変更しない場合は、システム  
WAKABAにログインできなくなります。  
体験会までに変更しておいてください。

# 事務室からのお知らせ



京都学習センター

## 公開講演会

開催のお知らせ

参加費無料で、学生以外の方でもお申し込みできます。  
ご家族やご友人をお誘いのうえ、ぜひご参加ください。

### 第2回 公開講演会

**東南アジア政治の光と影  
～インドネシア、ミャンマー、タイの今～**

**2024年11月2日(土)  
13:30～17:30**

会場：キャンパスプラザ京都5階 第1講義室  
定員：250名

京都大学東南アジア地域研究研究所教授  
**岡本 正明 先生**

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授  
**中西 嘉宏 先生**

放送大学京都学習センター所長  
**玉田 芳史 先生**

### 第3回 公開講演会

**太平洋の島のヒトとくらし(仮)**

**2025年1月18日(土)  
15:00～17:00**

会場：キャンパスプラザ京都4階 第2講義室  
定員：250名

放送大学京都学習センター客員教員  
京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科教授  
**古澤 拓郎 先生**

## 申込方法



●申込フォーム(QRコード) ●メール ●FAX

< 申込フォーム >



<https://x.gd/QvvFg>

< メールアドレス > [kyotosc.lecture@gmail.com](mailto:kyotosc.lecture@gmail.com)

< FAX番号 > 075-371-3033

メール、FAXでの申し込みは、以下3点を必ず明記してください。

- ①受講を希望する公開講演会の開催日
- ②氏名(ふりがな)
- ③連絡先電話番号(FAXの場合は、FAX番号も記載)



## 年末年始閉所日



2024年12月28日(土)～2025年1月5日(日)

ウェブサイトでもお知らせ

1月6日(月)は定例閉所日のため、7日(火)から開きます。

# お祝いのメッセージ

## 京都学習センター 玉田 芳史 所長



卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんがそれぞれの道で健やかに躍動されることをお祈りします。

今年9月の学位授与式は、気候が暑く政治も熱い時期と重なりました。与野党の党首選、近畿地方では兵庫県知事の去就、アメリカの大統領選などです。そのニュースが新聞、テレビ、ラジオで連日報じられています。罵詈雑言が溢れるSNSの世界は言うまでもなく、報道には偏りや間違いが皆無ではありません。ニュースを冷静かつ的確に咀嚼する一助になるのは読書です。先日、文化庁が発表したところによると、日本では1カ月に本を1冊も読まない人が5年前よりも15.3%増えて62.6%に達しているそうです。ご卒業の皆さんには読書家が多いことと思います。引き続き本をお読みになることで、報道内容の真偽を判断し、あわせて本の内容についても「ほんまかいな」と疑うことで、ご自身の脳みそを刺激してください。

教養学部 卒業生  
計56名

生活と福祉コース 12名  
心理と教育コース 18名  
社会と産業コース 8名

人間と文化コース 10名  
情報コース 6名  
自然と環境コース 2名



## 倉西 宏 先生 京都文教大学 准教授

卒業生の皆さん、本当におめでとうございます。

学びのモチベーションは生きるモチベーションとも重なります。

どう生きるかはどう学ぶかに通じるようにも思います。

これから的人生がより豊かになっていかれることを祈っています。

## 齊藤 智 先生 京都大学大学院 教授

ご卒業おめでとうございます。

それぞれの動機に基づいて、これまで主体的に学んでこられたと思います。

そうして得てこられた経験や知識が、皆さん的人生を豊かにしてくれることを信じております。

これからも学び続け、各自の道を進んで行ってください。



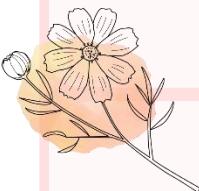
## 嶋田 晴行 先生 立命館大学 教授

ご卒業おめでとうございます。

さまざまな困難もあったと思われますが、

みなさまのこれまでのたゆまぬ努力と卒業という成果を得たことへ敬意を表します。

今後のご活躍を祈念しております。



## 瀬崎 圭二 先生 同志社大学 教授

ご卒業おめでとうございます。

学校には卒業や修了がありますが、学問や研究には卒業や修了はありません。

放送大学を卒業したことに関係なく、

今後も「ものを考えること」を続けていくべきだと思います。

世の中は分からぬことだらけなのですから。



# お祝いのメッセージ

## 月浦 崇 先生 京都大学大学院 教授

ご卒業おめでとうございます。

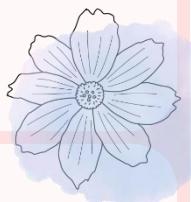
放送大学で学びを続けられた間には、大変なことも多くあったかのではないかと思います。

そのような中でも地道に一步一步学びを続けて卒業を迎えたことに、

ぜひ自信を持っていただけたらと思います。

そして、この放送大学での学びをきっかけにして、

皆様方のこれから的人生が益々大きく花開くことを祈念しております。



## 村山 弘太郎 先生 京都外国語大学 准教授

ご卒業、おめでとうございます。

これまでの皆様の努力と頑張りが、

今日という素晴らしい日につながったことに心からお祝い申し上げます。

放送大学での学びが、これからも大きな力となることを確信しています。

学ぶことに終わりはありません。

これからも学び続け、常に新しい知識や情報を自分のものにしていくください。

改めて、本当におめでとうございます。



## 八木 透 先生 佛教大学 教授

卒業生の皆さん。ご卒業、誠におめでとうございます。

学問は、基本的に私たちを豊かにしてくれるものです。

中でも、人文科学は人々の心に潤いを与え、生きるための指針を示してくれるものと信じています。

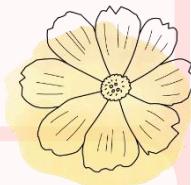
学問研究に卒業はありません。

どのような環境下においても、自らの意思さえあれば学習を続けることが可能です。

学問を継続してゆく限り、私たちの心身は決して衰えることはありません。

からの皆さまの学問研究の益々の発展を祈念いたします。

改めて、このたびはご卒業誠におめでとうございます。



## 吉岡 崇仁 先生 京都大学フィールド科学教育研究センター特任教授 京都大学名誉教授

ご卒業おめでとうございます。

放送大学では、たくさんのこと学ばれたことだと思います。

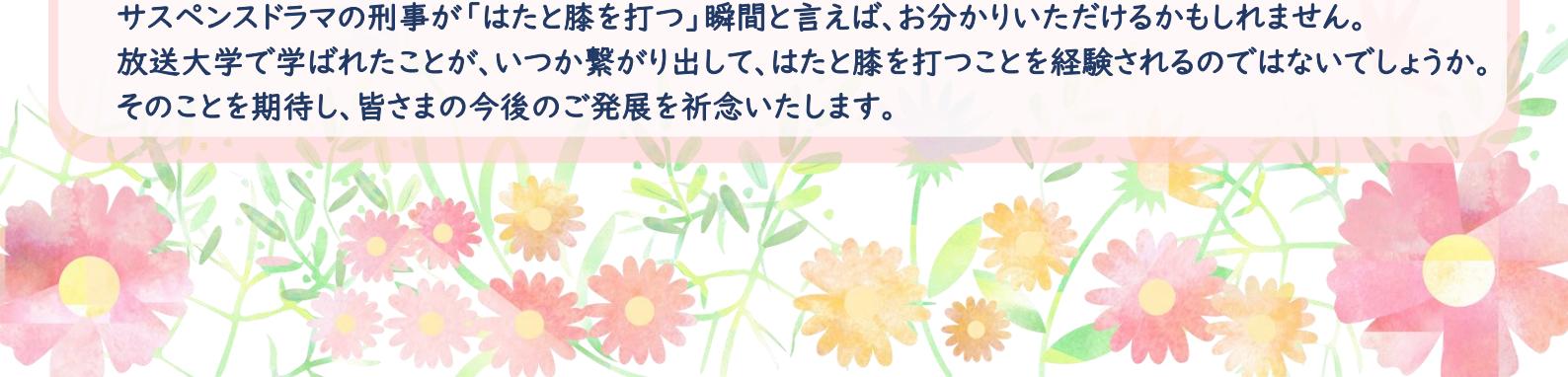
私ごとですが、今までよく分からなかったことが、突然理解できるときがあります。

全く別物だと思っていた事柄が、あれもこれもと気持ちよく繋がっていきます。

サスペンスドラマの刑事が「はたと膝を打つ」瞬間と言えば、お分かりいただけるかもしれません。

放送大学で学ばれたことが、いつか繋がり出して、はたと膝を打つことを経験されるのではないでしょうか。

そのことを期待し、皆さまの今後の発展を祈念いたします。



# 卒業によせて

別紙2-1

## 社会と産業 コース

47年前に大学の経済学部を卒業し、金融関係一筋の人生を過ごしてきたが、もし入学時に、王朝文学を専攻していたら、天文学に進んでいたら… if.の結果を楽しく推測しながら、今秋から5コース目の学びを続けることとします。

(西田 伸也さん)

50代後半に入学して休学4年を経て13年かかるようやく卒業できることができました。今年古希を迎えるました。人生やり残していることの一つが大学卒業でした。今後次のステップに進みたいと思います。

(匿名さん)

世の中では働き方改革が叫ばれ、どうすれば残業せずに仕事がこなせるのか?答えを求めて42の厄年に入学したサラリーマン。社会と産業コースに所属しながら心理学やコンピュータ関係なども履修した結果、答えが見つかったのかどうか…よくわかりません。ただ、確実に色々な学びが仕事に生き、家族に対し、社会に対し今後の人生の視野を広めることができたと確信しています。

10年での卒業を目指して入学し、途中から自宅受験となったことで仕事を休まずに単位認定試験が受験可能となったおかげで、8年での卒業が可能となりました。

引き続き継続入学し、あと10年、全コース制覇を目指しながら働き方改革の答えを探したいと思います。

(赤松 直仁さん)

3回目の卒業です。次は、心理と教育コースで学びます。今後共よろしくお願ひします。

(JMさん)

仕事をしながら少しづつ科目を履修して、ゆっくりペースですが卒業できました。学んだことは仕事や実生活にも役に立ちました。

(匿名さん)

私は20年ほど前に会社を定年で退職し、商事会社を起業しました。10年程経過し事業も安定したところで本大学に入学できました。幸い10年目の限度内で卒業できることとなり、事業も若い社員に引き継ぐことができ、深い感慨を覚えています。この先も新しい何かを求めて生きて行こうと思っています。

(柴 宣弘さん)

## 人間と文化 コース

退職したその年に入学しました。面接授業はコロナ禍で制限はありつつも意見交流が楽しかった。オンライン授業は講義の度にレポート提出が求められ、まとめる術を鍛えられた。7年間お世話になりました。また、入学したいと思います。

(長壁 猛さん)

18歳で就職し、定年まで同じ会社で働きました。ただ学歴による昇給、昇格の差は歴然。いつかは大学と思い放送大学にお世話になりましたが、当初の大卒資格の目標が、今では勉強の楽しさにすっかりはまってしまいました。ひとまず卒業はしますけど、再入学しますね。

(高木 敏男さん)

今から30年以上前に放送大学を知り、仕事を定年退職後に必ず入学しようと決めていました。今念願が叶い、こうして卒業することができました。これから先も勉強を続けていくつもりです。

(井上 恵子さん)

# 卒業によせて

別紙2-2

## 生活と福祉 コース

コロナ禍で休日に自宅で過ごすことも多くなり本腰を入れ全科履修生となりました。その後障害悪化の為ベッド上の生活が長くなりましたが、自宅や入院中でも定期試験の受験ができるようになったのがよかったです。

今後も修士選科生で研究テーマを絞り修士全科生へと夢は広がっています。ありがとうございました。

(三島 忠夫さん)

コロナ禍から大変なことが続き、一時休学しましたが無事卒業する事ができて達成感があり嬉しいです。 (吉田 雄作さん)

仕事と学業の両立は厳しかったですが、卒業が叶いとても嬉しかったです。夜勤もありなかなか勉強時間を確保するのは難しかったですが、目標をもって取り組むことでやり遂げることができました。また次のステップに進んでいきたいと思います。 (K.Hさん)

専門学校卒の臨床検査技師として10年、ふと視野を広める機会をと思い、大学の扉をたたきました。これからもまだ学びは続くのだと知り、卒業いたします。有難うございました。 (田村 広海さん)

コロナ前から、がんばってきましたがよくたえられたかんじです。再入学でまたがんばりたいです。 (横山 新さん)

## 情報 コース

二学期から自然と環境コースに進みます。  
(本間 政喜さん)

おかげさまで放送大学2回目の卒業です。嬉しいです。これからも放送大学でお世話になります。 (宮下 佳昭さん)

## 心理と教育 コース

今回の修了で5つ目の学位記となりました。次はグランドスラム・名誉学生を目指して最終コースにチャレンジです。色々と寄り道して他コースの単位も多く取得し過ぎたため残る科目が非常に限られるのが悩みの種です。 (西村 義孝さん)

9年かかりで、卒業することになりました。私は47歳で看護師になり、その年に放送大学に入学しました。看護学士と臨床心理士を目指していました。数年前に公認心理師という新しく資格ができたため、臨床心理士から目標を切り替えました。公認心理師を受けるために必要な科目もまだ10科目ほどあるので、卒業しても継続入学をして単位修得に励みます。目標に近づくために今後も勉強に励みたいと思っています。ひとまず、卒業できることに喜びをかみしめています。 (田村 トモ子さん)

この度は大変お世話になりました。私にとって大学は2校目でしたが、一度社会人を経験した事で学べる事のありがたみ、学生であることのありがたみを知りました。これからも私の学びは続きます。また別の形でお世話になるかもしれません。学友の皆さん、先生方、スタッフの皆さん、今までありがとうございました。またお目にかかる日までどうぞお元気で。 (中島 真美さん)

2015年10月入学「心理と教育コース」社会人学生 面接授業の中止や落選、科目申請忘れ、不合格!など予定どおりに進まぬこともございましたが、まなびならう愉しさに触れることができました。誠にありがとうございました。 (竹田 博子さん)